

令和5（2023）年度 事業計画書

公益財団法人 柏崎原子力広報センター

令和5（2023）年度事業計画

（令和5（2023）年4月1日～令和6（2024）年3月31日）

世界最大規模の原子力発電所が立地する地域として、広く県民一般に原子力発電、放射線利用など原子力の平和利用に関する知識の普及啓発を行い、もって地域社会の安全と安心に寄与することを目的とする。（定款から）

- 1 原子力の平和利用に関する知識の普及啓発
- 2 原子力に関する情報の収集及び公開
- 3 原子力防災に関する研修及び育成
- 4 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

総予算 38,469,000円（前年度当初：36,978,000円）

【事業項目】

1 原子力発電に関する広報事業

予算：22,309,000円（前年度当初：21,803,000円）

（1）展示事業

- 目的：当センターの展示設備等の利用促進と施設の維持管理
内容：当センターを適切に維持管理するために必要な施設及び設備の保守点検、館内清掃等
期間：4月～3月

（2）ホームページによる情報公開、発信

- 内容：講座、研修等についての定期的な情報発信
（日常更新は広報センターで実施）

（3）原子力広報啓発資料の作成と配布

- 内容：放射線に関する知識の普及啓発のためのメモ帳等の作成

（4）原子力関係情報収集

- 内容：職員研修・調査、資料収集と整理
原子力広報機関連絡会や原子力関連セミナー等への参加

2 「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」運営事業

予 算：9,828,000円（令和4年度当初：8,738,000円）

内 容：定例会12回、運営委員会12回、情報誌「視点」発行6回、
柏崎刈羽原子力発電所視察、20周年記録誌作成等

3 原子力防災に関する研修及び育成

予 算：5,875,000円（令和4年度当初：5,989,000円）

(1) 柏崎市事業

内 容：「原子力地域防災リーダー研修」運営業務

回 数：9回（市職員2回、学生消防団2回、消防団5回）

（令和4年度計画：6回）

予 算：2,810,000円（令和4年度当初：2,815,000円）